

岩手大学農学部附属産業動物臨床・疾病制御教育研究センター（FCD）シンポジウム
『一 牛の生産と家畜感染症に係る最新情報 一
自動搾乳システムの普及と牛伝染性リンパ腫・アフリカ豚熱』
開催要項

岩手大学農学部附属産業動物臨床・疾病制御教育研究センター（FCD）は、産業動物臨床教育と家畜疾病制御に係る教育を行うとともに産業動物分野を支える人材を育成する拠点化に向けた活動を行っております。第2回 FCD シンポジウムとして JRA 畜産振興事業に採択された 2 つの事業に関する内容を含めてご紹介いたします。産業動物実習部門からは乳牛を対象とした「持続可能な乳牛の管理システムの開発」として、搾乳ロボットの最前線に関する内容を、感染症制御部門からは牛伝染性リンパ腫の知識の普及として「若齢牛で発生する牛伝染性リンパ腫」について、またお隣韓国まで侵入し益々危機感の高まるアフリカ豚熱についての最新情報をご紹介します。いずれも産業動物に係る重要なテーマです。是非、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日 時：令和6年3月27日（水） 13：30～17：00（13:00～受付）

場 所：岩手大学農学部5号館2階 ぽらんホール

盛岡市上田3丁目 18-8（キャンパスマップ <https://www.agr.iwate-u.ac.jp/campusmap/>）

参加料：無料 実施形式：対面（定員 100 名程度まで）

シンポジウムプログラム：

13：30-13：35 開会の挨拶

13：35-15：15 【産業動物実習部門の講演】

(13：35-14：25) 基調講演

「酪農場における搾乳ロボット利用の現状と未来」 森田 茂 氏
(酪農学園大学 家畜管理・行動学 教授)

(14：25-15：15) 一般講演

(14：25-14：50) (1)「最新の搾乳ロボットの紹介」 木下 瞬 氏
(テラバル株式会社 マーケットデベロップメント&セールスサポート部
ソリューションマネージャー)

(14：50-15：15) (2)「持続可能な乳牛管理システム開発事業」 一條 俊浩 氏
(研究代表 岩手大学農学部共同獣医学科 教授)

(5分休憩)

15：20-17：00 【感染症制御部門の講演】

(15：20-16：10) 「牛伝染性リンパ腫はなぜ若い牛でも発生するのか？」 前澤 誠希 氏
(東京大学 大学院農学生命科学研究科 特任助教)

(16：10-17：00) 「ASF updates」 國保 健浩 氏
(国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
動物衛生研究部門 越境性家畜感染症研究領域 領域長)

17：00 閉会の挨拶



国立大学法人 岩手大学

産業動物臨床・疾病制御教育研究センター

Farm Animal Clinical Skills and Disease Control Center (FCD)

申込方法：

QR コードから申込フォームにてお申し込みいただくか、以下の参加申込書に必要事項を記入の上、下記申込先までに E-mail または FAX にてお申し込みください。

<QRコード>

<申込フォーム URL>

<https://forms.gle/7mKHDENmmAAAdWQBx9>



締切：3月21日（木）正午

令和6年3月27日 FCD シンポジウム 参加申込書		
お名前	所属	ご連絡先メールアドレス

*取得する個人情報は、研修会に関するご案内・ご連絡、参加登録、及び弊学からの情報提供のために利用します。

申込・連絡先： 〒020-8550 盛岡市上田 3-18-8
岩手大学農学部地域連携推進室
(岩手大学農学部附属産業動物臨床・疾病制御教育研究センター (FCD) 担当)
TEL：019-621-6108 FAX：019-621-6107
E-mail：fams@iwate-u.ac.jp
電話受付時間：月～金（祝祭日を除く）午前9時～午後5時